



Driving Concrete Piles, 聖橋工事中
神田側 Hijiiri Bridge, Tokyo.

聖橋

設計は 復興局土木部橋梁課
 工事監督は 復興局東京第二出張所辻技手
 工事施工は 東洋コンプレツソル會社
 基礎杭は ベテスタル鐵筋コンクリート杭徑
 十七吋、長十八呎

機械は杭打機は六十呎の本製タワ でナスミ
 ス直働機六馬力で一日六本を打込んだ。
 圖は本郷側基礎工事中のベテスタル式の杭打
 機である。

下圖は聖橋の側面圖である。
 聖橋は舊お茶の水の聖堂前に新に架設するも
 ので、あの深い堀割を渡つて神田と本郷を連
 絡するのである。中央徑間はメラン型鐵筋コ
 ンクリート拱にして、徑間百六呎、拱矢三十
 六呎にして本郷側は舊聖堂前の道路を越え、
 神田側は省線電車軌道を越えるものにて、中
 心に神田川を越え即ち三箇の交通路を横斷し
 て架せらるる一種の高架橋とも見らるるも
 のである竣工後はお茶の水橋と列んで頗る偉觀
 を呈するものである。

右圖は本郷側橋臺の竣工した處である。中央
 遙かにお茶の水橋を望み、神田側は締切足代
 組立中である。今後工事としても面白き施工
 を發表出来る事と信ずる。

聖橋工事着手は大正十三年九月

竣工豫定は大正十五年三月

